

様式 (7)

報告番号	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: inline-block; text-align: center; vertical-align: middle;">甲 保</div> 第 50 号 乙 保
論文内容要旨	
氏 名	阿部 慈
題 目	Comparison of management skills that are required for middle managers at present and in the next generation in advanced midwives (アドバンス助産師が認識する現在と次世代の中間看護管理者に求められるマネジメントスキルの比較)
<p><研究の背景>わが国の医療と看護を取り巻く環境は、医療の高水準化、少子高齢化の進展により大きく変化している。現在、中間看護管理者の定年退職が予定され、次世代中間看護管理者の計画的育成が喫緊の課題である。アドバンス助産師は次世代中間看護管理者の候補者となるが、中間看護管理者に求められるマネジメントスキルについてアドバンス助産師がどう認識しているか、また次世代の中間看護管理者に求められるマネジメントスキルの変化について先行研究でも明らかにされていない。</p> <p><研究目的>周産期領域の中間看護管理者に求められるマネジメントスキルの現在と次世代の変化について、アドバンス助産師の認識から明らかにし、次世代中間看護管理者育成の一助とすることである。</p> <p><研究方法>研究デザインは横断研究であり、2018年11月から2019年3月に調査を実施した。研究対象者は、300床以上の病院で助産業務に従事するアドバンス助産師を対象とした。調査内容は、対象の基本属性、周産期領域の中間看護管理者に求められるマネジメントスキル22項目の現在と次世代それぞれの得点を求め、統計学的検定を行った。本研究は、徳島大学臨床研究倫理委員会の承認を得て実施した。</p> <p><結果> 対象施設267施設のうち、193施設(72.3%)から研究協力の承諾を得て、1,140名を分析対象とした。助産師経験年数の平均は19.1年、職位は看護師長136名(11.9%)、副看護師長354名(31.1%)、アドバンス助産師650名(57.0%)であった。マネジメントスキル22項目のうち、現在の中間看護管理者に求められるスキルはコミュニケーション力、安全管理力、問題解決力、対人関係調整力の順に平均得点が高く、次世代ではコミュニケーション力、対人関係調整力、問題解決力、安全管理力の順であり、上位6項目は同じ内容であった。マネジメントスキル22項目の現在と次世代の平均得点の比較では、22項目すべてにおいて平均得点は有意な増加を認めた(p<0.001)。現在と次世代の平均得点の変化率では、社会活動への参画力(116%)が最も高く、経営参画力(115%)、ICTの活用(115%)、研究力(114%)の順であり、現在と比較し次世代の中間看護管理者に求められるマネジメントスキルが変化していくことを予測していた。</p> <p><考察>アドバンス助産師は、次世代の中間看護管理者に求められるマネジメントスキルとして、社会活動への参画力の重要性を認識していた。周産期医療と看護を取り巻く環境の変化から産後うつや児童虐待の増加が社会問題となり、母子のための地域包括ケアシステムの確立が求められている。アドバンス助産師は、病院内に留まることなく活動の場を地域社会に広げ、母子に対して助産ケアを継続的に提供していく必要がある。さらに次世代の中間看護管理者は、ICTを積極的に活用するための環境を整備し、安心安全な出産環境の提供に繋げていくためのマネジメントスキルが求められている。</p> <p><結論>アドバンス助産師は、現在と比較し、次世代の中間看護管理者に求められるマネジメントスキルが変化することを予測していた。また、次世代の中間看護管理者には、アドバンス助産師が地域社会で活動することのできる体制整備や、ICTの活用等のマネジメントスキルが求められると認識していた。</p>	